

安全な入院生活を送っていただくために

1. 個人情報保護について

プライバシー保護のため、お名前の呼び出しを行っておりません。

また、面会者へのご案内を望まれない場合につきましては、スタッフステーションまでお申し出ください。

2. 患者さんのお名前の確認について

患者さんご本人の確認のため、医師・看護師・その他の医療従事者が、注射・処置・検査等の前に患者さんのお名前と生年月日を確認させていただいております。患者さんご自身に、お名前(フルネーム)と生年月日を言っただきますので、ご協力ください。

また、全ての患者さんの手首にリストバンドの装着をお願いしております。



3. 危険物の持ち込みについて

安全上、はさみ・ライター・果物ナイフなどの危険物の持ち込みはご遠慮ください。はさみ等使用される場合は、スタッフステーションに準備しておりますのでお申し出ください。



当院では敷地内禁煙を実施しています。ご理解とご協力をお願いします。



医療安全推進室

転倒・転落の予防について

入院中は、環境が変わることや、筋力・体力の低下から、予想以上に転びやすい状況になります。自分では大丈夫と想着いても、ベッドの周囲や廊下で転んだり、ベッドから転落することがあり、中では骨折される方もいらっしゃいます。

安全な入院生活を起こっていただくために、患者さんはもとよりご家族も含めて、転倒・転落の予防についてご協力をお願いいたします。

◆転倒しやすい状況は、以下のような場合です

- 初めて睡眠剤を服用した時
- 足腰に力が入らない、立ちくらみする時
- 熱がある、悪寒がする時
- 麻痺やしびれがある時
- トイレの間隔が近い時(下痢)
- 以前転んだことがある場合
- 検査等で絶食の期間が長い時
- 認知症などのため、病状の理解が不十分な場合

◆転倒しやすい状況は、以下のような場合です

①ナースコールについて

- ・いつも手元に置いて、看護師への連絡や必要時に押してください
- ・ひとりで歩くのが不安な時は、遠慮なく押してください



②夜間トイレに行く時

- ・心配な方は、遠慮なく看護師にお知らせください

③履き物について

- ・普段から履き慣れたものや、ゴム底の靴タイプが安全です。
- ・スリッパは滑りやすく脱げやすいので使用を控えてください。
- ・福祉用具の靴は、売店にも揃えています。



④車椅子や杖について

- ・車椅子に乗り降りする時は、必ずブレーキをかけてください。
- ・杖は、普段をお使いのものがあればご持参ください。

⑤ベッドの周囲について

- ・床頭台やオーバーテーブルは不安定で動きますので、つかまると危険です。
- ・入院中の荷物は、収納棚等に収まるようにして、床に物を置かないでください。
- ・コード類につまずかないように気をつけてください。
- ・床がぬれている場合は、滑りやすくなりますので、看護師にお知らせください。

⑥ベッドについて

- ・ベッドの高さは、座ってかかどがつく高さに調整します。
- ・ベッドの上に立ったり、身を乗り出して物をとろうとしないでください。

◆転倒・転落防止へのご協力のお願い

- 入院中のお荷物は最小限にし、ベッド周りの整理整頓にご協力をお願いします
- 転倒防止策は十分に行いますが、それでも完全に予防できないことをご了承ください。